



アクテノン

NO. 50

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

知らせを聞いた日



文学座アトリエの公演'05
「ぬげから」
作：佃 典彦
第50回岸田國士戯曲賞受賞作品

昨年の12月16日、この日はアクテノンシニア演劇部発表会の初日で中村文化小劇場にいました。うちの劇団(B級遊撃隊)の斉藤やよいからメールが入ってきました。「岸田賞最終候補に残りました」と…。僕は今まで一度も最終候補に残ったことが無く、岸田賞とは縁がないものと思っていましたから非常に嬉しく興奮したのを覚えています。〈受賞の知らせ)よりも〈最終候補の知らせ)の方が嬉しかったですね。

1月23日が選考会の日、16時から始まって受賞作品が決まったら白水社から連絡が入る事になっていました。が、その日の僕はインフルエンザで高熱を出して自宅で倒れていました。頭はボーっとしてる割には興奮状態になっていてワケが判らない…こりゃタミフルの影響かしらん? しかも全然連絡が来ません。焦らされること5時間、やっと携帯電話が鳴りました。「佃さんの作品『ぬげから』が受賞作に決定しました」身体の力が抜けました。高熱のせいもあったかも知れませんが、嬉しいというよりホッとした感覚、野球選手が2000本安打を達成してベース上で安堵の表情を浮かべるアレに近い状態だと思います。朝日新聞が事前に取材をしてくれていて(受賞の場合と落選の場合と二通りの取材を2週間前にしていたのです)結果が出たらすぐに連絡するように言われていました。受賞した場合は三段抜きで大きめに記事にします…と、言われていたのです。さっそく朝日新聞に電話す

佃 典彦 (劇団B級遊撃隊 主宰)

ると「あ、佃さん? 受賞した? ごめんね…大きい記事にしたかったんだけど大事件が起きちゃって扱いが小さくなっちゃいます。」なんて返事。そうです、その日はホリエモンが逮捕された日なのでした。「おいおい、ホリエモン何してくれる! たわけえ〜!」翌日の新聞にはそれでも写真入で載せて頂きました。それからはメールやらお祝いの花やら電報やらアチコチから頂きました。その数の凄いいこと…ああ、やはりデカイ賞なんだなあと改めて実感しました。二日後、やっと熱も下がって台本を書き始めました。実はその時、締切りが迫っている作品(「七人姉妹」おじまるけ)があったのです。書き始めるとまったく受賞前の自分と変わっていない事に気付きました。そりゃそうです、受賞したからといってスラスラ書ける様になるワケじゃないのです。

4月4日は授賞式。場所は東京飯田橋にある出版会館です。今回は僕ともう一人、三浦大輔さんと同時受賞です。三浦さんは30歳と若い方でした。そこで何故、選考に5時間も費やされたかを聞かされました。僕と三浦さん、それと長塚さんの三人の作品で揉めに揉めた末に決定したとのこと。選考委員の方たちも大変だったようです。

もう受賞の知らせを聞いてから四ヶ月が経ちます。今はもう受賞した事も忘れてしまいました。執筆作業ってものは「たどりついたらいつも雨ふり」なんだなあ…と感じるこの頃です。

トピックス

アクテノン・ワークショップ「演劇のための舞台音響講座」を受講して

ユサカ真妃 (演劇ユニット TRASHONLy 代表)



平18年3月25日(土)開催
講師：糟谷卓司さん(演劇製団海賊船II)

「よかった、最年長じゃないっ」失礼ながら音響講座会場の扉を開けて最初の感想でした。

劇団を旗揚げして7年。それ以前から少し携っていた音響を、これまでの公演では演出とともに何度か担当してきました。昔一度、基礎知識を勉強したのですが、劇団の芝居ではあまり使わない機材は、時が経つにつれ知識もおぼろげになり、この年で今さら人にも聞けずというような悪循環。そんな時、この音響講座を知り、飛びついて応募しました。

「今日は実践というよりは、話を聞くことがかなり多くなると思いますが」

講師である糟谷先生が初めにおっしゃられたように、午前中の講義は基礎知識や機材の説明。けれど、ホワイトボードに判りやすく図を書かれ、何度も「何か質問はありますか?」との気配り。あまり手の挙がらない私たちに「昼食の時のほうが話しやすいかな」と、昼食時も付きっきりで教えてくださいました。そして午後は実際の機材を使っ

ての説明。午前中の難しい講義は、ここにある機材を使うためにどうしても必要だったんです。」とおっしゃる糟谷先生は、実体験に基づくお話を沢山してください、会館などで目にする、業者の方の、素人には判らなかつた作業について、細かく教えてくださいました。

実は以前にも同じアクテノンで照明講座を受講したことがあるのですが、その時は30代が最年長ということで、少し気後れしていたのです。しかし、劇場ボランティアの方もいらっしゃるということで、今回の音響講座を受講していた方の半分以上は自分より年上の方でした。しかし、皆さんほんとうに真剣に受講されていて、勉強するのに遅すぎることはないんだと、少し反省させられました。と同時に、忙しい現場ではなかなか聞けない疑問をぶつけられるような場があったことに、本当に感謝しています。

これからも、また違う講座が開かれると思うのですが、積極的に参加したいと思います。

アクテノン・シャワー

「アクテノンにやってきた演劇のチラシ展」のお知らせ

演劇の公演に出かけた時、入口でもらったチラシはどうしていらっしやいますか？劇団は公演するにあたり、たくさんの方に見ていただけるようにと願いを込めてチラシを作ります。そんなチラシも公演が終わるとその使命を終え、忘れられ、捨てられてしまうという果敢ない運命です。そんなチラシ達が再び甦ります。アクテノンにやってきた、ちょっと懐かしいチラシの展示会です。ぜひ見に来てってください。

- * 期間：平成18年6月27日～7月30日 月曜日は休館日です。
(ただし、7月17日は祝日のため開館し、7月18日が休館日になります。)
- * 時間：午前9時から午後7時
- * 公共交通機関にてご来場ください。

定期利用の受付について

平成19年度(平成19年4月～平成20年3月)分の定期利用を次のとおり受付いたします。

- * 受付期間/平成18年7月1日～15日(月曜日は除く。)
- * 対象/演劇の練習
- * 貸出施設/大練習室1・2、及び小練習室1(いずれも4階)
- * 利用方法/利用年度を通じて、月2日以上15日以内(ただし、1週間につき3日以内、同一曜日、同一使用時間区分)、1日につき2区分以内。
- * 使用料/平成18年9月末日までにお支払いいただきます。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 劇団青テント



事務局長で役者の川名美枝子さん。川名さんがいてくれないと、おいら達は本当何もできない。皆からは切盛り上手なドラミちゃんと呼ばれている。看板役者の安藤雅子さん。ドーナツの食べ方がエロい。おいらから見た安藤さんの評価は、問題ナス言うことナス。もっとエロい人になってください。衣裳の小南じゅうろくさん。1番怖いので敬語を使っている。今から小南さんの真似します。「チエツ(舌打ち)」演出助手の伊藤正樹君。ヒゲ男だ。おいらは舞台演出家で座長の竹田和弘でした。んじやね。

- ① 2001年 ② 5名 ③ しまうま風車/北文化小劇場、ブーク人形劇場(東京)('03)VERY BEST/名東文化小劇場('03)、可児市文化創造センター小劇場虹のホール('04) 僕の死ぬ理由と折りたたみ人間/中川文化小劇場('05)
- ④ 竹田 和弘 〒490-1205 愛知県海部郡美和町大字花正字郷中11番地 ☎(080)5158-2575

アクテノンに一言 職員さん全員の名前を覚えるので、その交換条件においら達青テント5人全員の名前を覚えてください。誰が誰だかわかんないけど、1番人見知りの激しいのがおいら竹田だから。ほなね、ほなさいなら。

演劇 しんくう団



2001年の活動開始以来、お客様と役者との間に生まれる「観られる空間」を作ろうと模索中です。今後の公演予定は、5/27(土)に第四回公演「かくれんぼごっこ」を、theater MOONにて。そして、6/30(金)朗読公演、「しんくう団 おはなしづくし」を、WEST DARTS CLUBにて上演します。是非、御来場下さい。

- ① 2001年 ② 2名 ③ 夜の香り/スタジオ・座・ウィークエンド('03) コンズ/スタジオ・座・ウィークエンド('04) いかげしごむ/スタジオ・座・ウィークエンド('04)
- ④ 成田 智子

アクテノンに一言 アクテノンの駐車場から入口までの間、円柱の建物を見てもなく見ながら歩いて行くのが好きです。これからもよろしくお願いします。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

アクションクラブ 第5回公演 『サニーサイドウォーク プラス1』	① 名古屋市北文化小劇場 ② 6月21日(水) 7:00、22日(木) 7:00、23日(金) 3:00 7:00、24日(土) 1:00 5:00 ③ 2,800円(当日3,000円) 中高生1,200円(当日1,500円) ④ ☎052-565-1889 E-mail sunny@action.club.ne.jp 生と死が背中合わせの時代に生きた男の群像を描くアクション時代劇。乞うご期待！
芝居屋遊牧之民 プレゼント企画公演 『Or』 まちかど 月よりも、蒼 落花生と柿のタネ	① ナビロフト(名古屋市営地下鉄鶴舞線原駅下車、徒歩8分) ② 6月24日(土) 2:00 6:00、25日(日) 11:00 3:00 ③ プレゼント価格・入場無料 ④ ☎080-3614-7777 E-mail shi818yubo93n@hotmail.com 短編3作品同時公演・遊牧之民がお送りする季節狭間の蟹気楼ー詳細はHPへ。
劇団ちゃりんこ10周年! 第21回公演 『遙か昔に出会った2人が今も尚、海に漂う理由なら、波に訊ねてみればいい。』	① 名古屋市中村文化小劇場 ② 7月22日(土) 7:00、23日(日) 12:00 4:00 ③ 800円(当日1,000円) ④ ☎090-4441-4589(劇団)、URL: http://www.gekidan-charinko.com 携帯もOK! 女よ、母なる海となれ。男よ、海の神となれ。詳しくはホームページへ！
劇団青テント 第9回公演 『渚のバニラ』	① 名古屋市中村文化小劇場 ② 8月20日(日) 1:00 5:00 ③ 1,000円(前売・当日共)(中学生以下無料) ④ ☎080-5158-2575(伝言) E-mail aotent@infoseek.jp 作・演出 竹田和弘。甘くておいしいバニラだけど、たった5分で溶けて消えてしまう。



編集発行/平成18年5月25日(年4回)
 名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は再生紙(古紙100%白色度80%)を使用しています。

